

天竜区舞台にほのぼの漫画

まるかわさん全国発売

市長に報告、応援も求める

浜松市天竜区を舞台
にほのぼのとした人と
妖怪の交流を描く漫画
「ようすの候」のコミ



天竜区を舞台にした「ようすの候」をPRする
まるかわさん(左)=浜松市役所

(浜松総局・青島英治)

ツクス第1巻を刊行し
た市内在住の漫画家の
まるかわさん(28)がこ
のほど、市役所を訪れ、
鈴木康友市長に刊行と
全国発売を報告した。

まるかわさんは静岡
文化芸術大在学中から
不思議なやりとりの
作品は、人と妖怪の
いふるいを描いていた。

15年からウェブ上で
作品の公開を始めた。
出版社のマンガ賞で佳
作に入り16年末にデビ
ュー。18年5月までは
市内の図書館に勤務し
ていた。
まるかわさんは静岡
文化芸術大在学中から
不思議なやりとりの
作品は、人と妖怪の
いふるいを描いていた。
作品には、随所に北遠
州弁で、この地域の人
の温かさを発信する。
天竜区の「レトロな
町並みにひかれた」と
いうまるかわさんの
作品には、随所に北遠
の風景が登場し、佐久
間電力館や春野の大
天狗面などの名所も
紹介する。まるかわさ
んは「背景をよく見て
ほしい。全国の人が描
いた場所を探しに北
遠に訪れてくれば」と
述べ、応援を要請し
た。鈴木市長は「市も
SNSで積極的な発信
を考える。沿岸部の話
も書いてほしい」と喜
んだ。

漫画を描き始め、20
15年からウェブ上で
作品の公開を始めた。

15年からウェブ上で
作品の公開を始めた。
出版社のマンガ賞で佳
作に入り16年末にデビ
ュー。18年5月までは
市内の図書館に勤務し
ていた。